第2回 横浜市保土ヶ谷区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年4月24日(木) 11時33分から13時15分まで
開催場所	保土ヶ谷区役所5階501会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 安藤 孝敏 (横浜国立大学 名誉教授 ヤマザキ動物看護大学 特任教授)</p> <p>委員 北川 有紀 (ほどがや市民活動センターアワーズ センター長)</p> <p>大尾 美登里 (NPO法人中途障害者地域活動センターほどがやカルガモの会 理事長)</p> <p>樋口 倫子 (保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころ 施設長)</p> <p>矢岳 幸太 (東京地方税理士会 保土ヶ谷支部 会員)</p> <p>【事務局】</p> <p>保土ヶ谷区福祉保健センター担当部長 半田 恒太郎 保土ヶ谷区福祉保健課長 水野 直樹 保土ヶ谷区高齢・障害支援課長 大熊 光子 保土ヶ谷区福祉保健課事業企画担当係長 白石 龍郎 保土ヶ谷区福祉保健課事業企画担当 梶原 麻子、小倉 史絵</p>
欠席者	なし
開催形態	一部非公開(意見交換、評価記入、事務局からの連絡事項等について非公開)(傍聴者0人)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 事前確認事項 2 申請団体の面接審査 3 指定候補者の選定、講評
決定事項	<p>指定管理者の候補者(以下「指定候補者」という。)として、次のとおり、横浜市保土ヶ谷区長に報告することとする。</p> <p>○ 横浜市保土ヶ谷区福祉保健活動拠点の指定候補者 社会福祉法人横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会</p>
議事	<p>1 申請団体による面接審査</p> <p>(1) 事前確認事項</p> <p>事務局から、社会福祉法人横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会から申請書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認した。</p>

○委員会の公開・非公開

申請団体審査、指定候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み)

○面接審査の進め方及び質問項目の確認

(事務局)

- ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。
- ・最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

(委員)

- ・ヒアリング時の質問項目を確認した。

○申請団体の資格要件等について

(事務局)

- ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。
- ・欠格事由に該当しないことを報告。

(2)面接審査

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 災害ネットワークボランティアの現在の状況を聞きたい。

(団体) 災害時にはボランティアセンターを設置する予定。キャパシティは100名程度を想定しているため、ICT活用により事前に人数把握を行うなどの対応をする予定。

(委員) 苦情はどのように対応しているか。

(団体) 無記名・投函式で苦情を受け付ける仕組みを設けているが1件もない。施設利用報告書の意見欄や、窓口で直接職員が受けた苦情も対応している。

(委員) ボランティア新規登録者の傾向は、特にコロナ禍などで変わっているか。

(団体) 傾向に大きな変化はないが、20代以下の主に大学生からの希望が増えつつある。一方で授業と時間が重複するなど、マッチングには課題がある。

(委員) 地域ケアプラザとの連携はどのようにしているか。

(団体) 例えば8施設と共同で障害児の余暇活動の取組を年2回実施している。今後障害の有無によらず、活動を拡大したい。

(委員) SNS の活用はどのような頻度・内容でしているか
 (団体) Facebook と Instagram の 2 つを使用しているが、最近は主に Instagram を用いて活動の開催を知らせている。活動報告も掲載したいが、参加者の写真の掲載など課題がありなかなか難しい面がある。

2 指定候補者の選定、講評

申請者から提出された申請書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

横浜市保土ヶ谷区福祉保健活動拠点

	申請団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会	881／1,200 点	831／660 点

(審査講評)

- ・窓口での一言が課題解決につながった事例や外国語対応など、きめ細かく対応していることが伝わった。
- ・駅前の複合施設という立地や SNS などを生かして、より福祉情報を発信できると良い。
- ・学生を含むボランティア登録者が増えているため、その登録動機を把握し、受け皿となるような活動の開拓を期待する。

申請者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会を指定候補者として選定することを決定する。

資 料
 特 記 事 項

1 資料

- (1) タイムスケジュール
- (2) 選定委員名簿
- (3) プレゼンテーション資料
- (4) 採点シート
- (5) 財務分析結果報告書

2 特記事項

特になし